

オレンジ・ランプ

貫地谷しほり 和田正人

伊寄充則 山田正人 赤間麻里子 赤井英和 中尾ミエ
監督:三原光尋 企画・脚本・プロデュース:山田秀幸 脚本:金杉弘子 音楽:宮崎道
主題歌:THE CHARM PARK「セルフノート」 原作:山国秀幸「オレンジ・ランプ」(幻冬舎文庫)

39歳、パパが認知症!?

どうする、私!!



それは、温かな灯りが紡いだ感動の実話

若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに描く、夫婦の希望と再生の物語。
年齢を重ねていく全ての人へ、より良く生きるヒントがここにある。

企画協力:丹野智文 協力:日本認知症本人ワーキンググループ 認知症の人と家族の会 他
Official Partner: 太陽生命保険 特別協賛:湘南アイパーク ドラゴンコーチング ネットトヨタ仙台 日本介護クラフトユニオン
清山会医療福祉グループ カナミックネットワーク 在宅支援総合ケアサービス
製作:「オレンジ・ランプ」製作委員会 コピーライト:c2022「オレンジ・ランプ」製作委員会 配給:ギャガ

12/3(日) 三原光尋監督トークショー 詳細は裏面へ

上映期間 2023. 12/2(土)~12/15(金)※火曜日定休



鶴岡まちなかキネマ



独立行政法人福祉医療機構

山王助成 社会福祉振興助成事業

山王キネま大学

39歳、パパが認知症!? どうする、私?

実話をもとに認知症ご本人と家族の9年間の軌跡を描く、やさしさに満ちた希望と再生の物語

STORY



妻・真央や二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若年性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく……。

～「オレンジ・ランプ」とは～

認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。

12/3 (日) 映画上映と三原光尋 監督トークショー

映画上映 13:20～15:10

トークショー 15:10～16:00

出演 三原 光尋 監督 1964年京都府出身
代表作『燃えよピンポン』『あしたはきっと…』

富樫千代美さん 聖隷浜松病院 認知症看護認定看護師
(元鶴岡市立荘内病院勤務)

五十嵐利恵さん つるおかオレンジサポートの会 副代表

ビデオメッセージ 映画のモデルになった丹野智文さん

対象 興味のある方ならどなたでも (定員80名)



映画と福祉のコラボ

若年性認知症をテーマに映画を制作した監督の想いや現場でのエピソード、看護師として認知症の本人や家族に対しての状況や医療の現状、地域活動として様々な認知症支援の取組を行っているボランティア団体のこと等をお聴きします。

多くの方に、映画を通じて若年性認知症と認知症のことを理解していただく機会にいたします。

●この映画には日本語字幕がつきます。



三原光尋監督

●入場には通常の鑑賞料金がかかります。特別招待券はご利用いただけません。

お問い合わせ 鶴岡まちなかキネマ TEL 0235-64-1441
鶴岡市ボランティアセンター TEL 0235-23-2970 FAX 0235-23-9110